

製品仕様

機種番号865

1. 電池寿命 : 約2年
2. 常温携帯精度 : 月差±20秒以内 (※1)
3. 水晶振動数 : 32,768Hz (Hz=1秒間の振動数)
4. 使用電池 : 小型銀電池 1個 SR927W
5. 作動温度範囲 : 0°C~+55°C
6. 表示内容 : 時刻・・・ (AM/PM) 時/分/秒/カレンダー (月/日/曜日)
12/24時間制切換 (アラームモードも連動)
カレンダーは月末無修正 (2099年まで)
カウントダウン・・・ターゲット日までの残り時間 (日/時/分/秒)

ターゲット日表示 (/年/月/日)
アラーム・・・ (AM/PM) /時/分
ストップウォッチ 60分未満: 1/100秒/秒/分/時
60分以上: /秒/分/時
最大計測24時間 (24時間計測後、オートリセット)
スプリット計測機能

7. 駆動方式 : 2極ステップモーター1個
8. 使用IC (集積回路) : C-MOS-IC 2個

(※1) 常温携帯精度とは、5°C~35°Cの温度環境下において、1日に半日程度の携帯をすること。

※ 製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

製品865の特徴と各部の名称

865タイプは、アナログによる時刻表示と、デジタル表示による時刻表示、1/100秒計測ストップウォッチ、カウントダウン表示、カレンダー、アラーム、を備えたコンビネーションタイプのクォーツ時計です。

●時刻

アナログとデジタルでの時・分・秒の他、デジタルでのカレンダーを表示します。

●ストップウォッチ

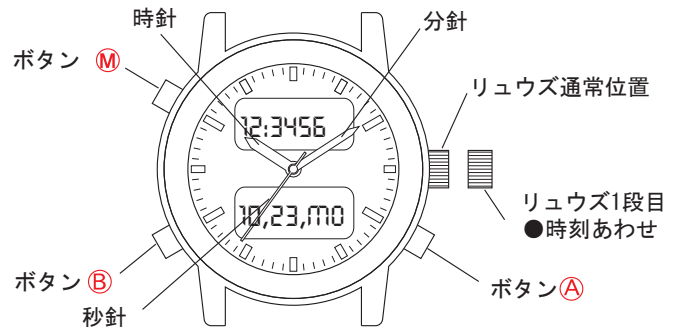
最大59分59秒99まで1/100秒単位の計測し、それ以降は24時間まで1秒単位で計測します。

●カウントダウン表示

西暦2099年12月31日までのお好きな日付までをカウントダウン表示します。

●アラーム

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間アラームが鳴ります。



オールリセットについて

※電池交換をした後や、強い衝撃等を受けた時、正しい表示をしな場合があります。このような場合は、オールリセット機能を使い再度セットしてください。

1. (M) (B) (A) ボタンすべてを同時に3秒以上押します。
2. すべての表示が消えた時、ボタンを離すとすべてのデジタルが表示します。いずれかのボタンを押すと、確認のアラーム音が鳴ります。

アナログ表示部時刻の合わせ方

1. リュウズを1段目まで引き出します。

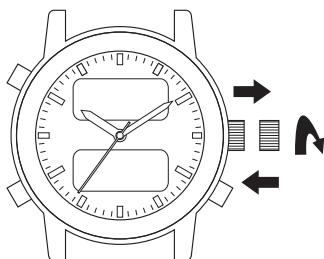
※リュウズが引き出せない。(ねじロック式リュウズ) モデルは、リュウズを左に回してねじをゆるめ、リュウズを1段引きます。

2. リュウズを回して、時・分針を現在時刻に合わせます。

3. 時報と同時にリュウズを押し込むと秒針はスタートします。

※時刻合わせは、電話の時報サービス TEL 117が便利です。

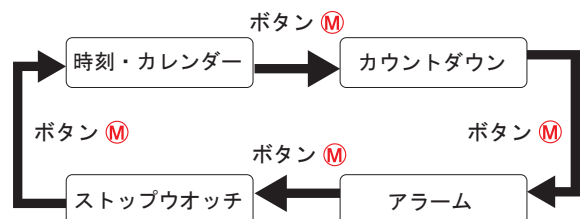
※ねじロック式リュウズモデルは、リュウズを押し付けながら右に止まる場所までねじ込んでください。



※デジタル表示部とアナログ表示部は別々にセットできます。

デジタル表示機能の切り替え方

デジタル機能のモードは ボタン (M) を押すことにより切り替えられます。



●時報のON、OFFのセット方法

時刻・カレンダーを表示しているとき、ボタン (A) とボタン (B) を同時に押すことにより時報のON/OFFの切替が行え、操作毎に、確認音が鳴ります。ONにセットすると時報マークが表示されます。

デジタル表示部時刻・カレンダーの合わせ方

1. デジタル表示が時刻・カレンダーモードの時、ボタン (B) を2秒以上押し続け秒を点減させます。点減箇所が修正可能です。

※秒を修正時(点減時)時報に合わせてボタン (A) を押すと、その時の秒表示が0~29の時は切り捨てられ、30~59の時は繰り上がり分が1進みます。

2. 時刻を合わせたい箇所の数字を選ぶには、秒が点減している時にボタン (B) を押し修正箇所をボタン (A) を押して合わせます。

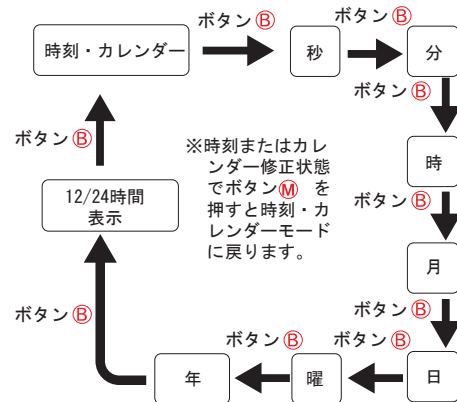
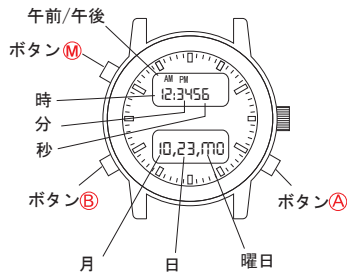
※ボタン (A) を押し続けると早送りになります。

※12時間/24時間制表示の切替はボタン (A) で行います。

※12時間制表示のご利用時は、AM/PM表示に注意してください。

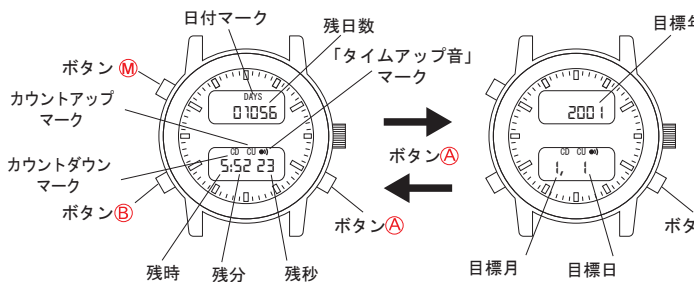
※時刻またはカレンダー修正状態でボタン (M) を押すと時刻・カレンダーモードに戻ります。また、2分間放置すると点減が止まり時刻・カレンダーモードに戻ります。

※西暦2099年まではフルオートカレンダーとなります。



デジタル表示部カウントダウンの使い方

カウントダウン機能とは、現在の時刻から目標となる日付(午前0時00分00秒)までの残り時間又は、経過時間を示すことができます。また、目標となる日付になると「タイムアップ音」を20秒間鳴らすことができます。



カウントダウンモードマークは、

CD: カウントダウン計測中(目標日がまだ来ていない場合)の状態を表示します。

CU: カウントアップ計測中(目標日がもう過ぎていている場合)の状態を表示します。

※「CD」が点滅しているとき目標となる日付までの残り「日数、時間、分、秒」を表示します。

※「CU」が点滅しているとき目標となる日付からの経過「日数、時間、分」を表示します。

●目標となる日付の合わせ方

1. ボタン (M) を押してCD/CUマークを点減させカウントダウンモードにします。
2. ボタン (B) を2秒間押し続けて月を点減させます。点減箇所が修正できます。
3. ボタン (B) を押す毎に点減箇所が移動します。修正箇所を選んでボタン (A) を押して合わせます。

※ (A) ボタンを1回押すと1進み、押し続けると早送りになります。

※カウントダウン音ON/OFF修正時にボタン (A) を押し続けると「カウントダウン音」の試し聞きができます。

※「タイムアップ音」が鳴っているときは、どのボタンを押しても、音を止められます。

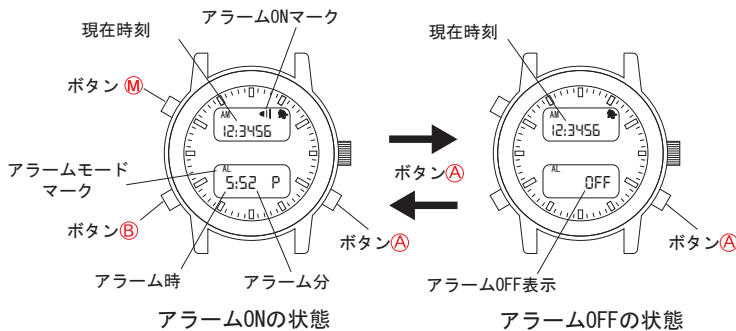
※目標となる日付は1997年1月1日から2099年12月31日までセットできます。

※カウントダウンモード時、ボタン (A) を押すとセットした目標となる日付(年月日)を表示します。

※設定を変えたり、間違った場合は (A) ボタンが循環式になっていますので目的箇所まで止めて下さい。

デジタル表示部アラームの使い方

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間アラームが鳴ります。



●アラーム時刻の合わせ方

1. ボタン (M) を押してアラームモードマークを点減させアラームモードにします。
※アラームモードマークを点減させた時にアラームOFF表示の場合は、ボタン (A) を押してアラーム時刻表示にします。
2. ボタン (B) を押すと時が点減します。点減箇所が修正可能です。
3. ボタン (B) を押す毎に点減箇所が移動します。修正箇所を選んでボタン (A) を押して合わせます。
※12時間制表示をご利用の時は、午前「A」、午後「P」表示に注意してください。
※鳴っているアラームは、どのボタンを押しても、音を止められます。

●アラームON/OFFのセット方法

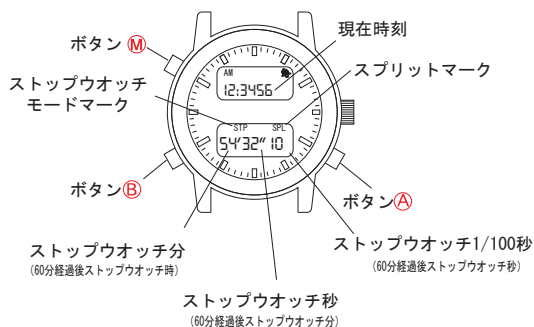
1. アラームモードマークを点減させアラームモードにします。ボタン (A) を押すことでON/OFFが切り替わります。
※アラームOFFの状態では、セットした時刻になってもアラームは鳴りません。
※アラームモードの通常状態でボタン (A) を押し続けると「アラーム音」の試し聞きができます。

デジタル表示部ストップウォッチの使い方

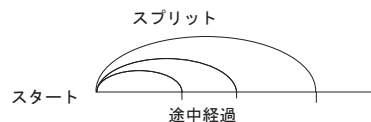
ストップウォッチは59分59秒99まで1/100単位で計測できます。そのあとは、23時間59分59秒まで1/1秒単位での計測に切り替わります。24時間計測後は自動的にリセットされます。

●計測の方法

1. ボタン (M) を押してストップウォッチモードマークを表示させストップウォッチモードにします。
2. ボタン (A) を押す毎に計測のスタートとストップを繰り返します。
3. 計測中にボタン (B) を押すとスプリットタイムが表示されます。この間はスプリットマークが点滅します。
4. スプリットタイムにボタン (B) を押すと再び計測モードに戻ります。
5. ストップ状態から (B) ボタンを押すとリセットされ00'00"00表示に戻ります。



※スプリットタイムとは、スタートからある区間までの途中経過時間をさします。



※ストップウォッチ計測中でもボタン (M) を押すと他のモードに切り替わります。その間、ストップウォッチは計測を継続しています。再度、ストップウォッチモードに切り替えることで計測時間を知ることができます。